



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2013~2014年度クラブテーマ
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」
Join Together with Good Challenge!

本日の例会/ 2013年 11月 22日 第1280回

卓話：「縁の下の力持ち」
キャノングローバル戦略研究所
代表取締役 福井 俊彦 氏 (元日銀総裁)

前回報告 / 2013年 11月 15日 第1279回例会

卓話：イニシエーションスピーチ
東京国際コンサルティング株式会社
代表取締役 齊藤 治彦 氏 (当クラブ会員)



卓話紹介：西澤会長

会長報告：

石井謙次会員へロータリー財団よりポールハリスフェローの認証状がとどいております。



幹事報告：

NPO 法人社会貢献ミュージカル振興会より「やまない雨」自殺対策・うつ病対策啓発ミュージカルのご案内が届いております。11月28日(木)19:00 開演、29日(金)14:00/19:00 開演、豊島区立南大塚ホール、入場無料。お申し込みは、豊島区池袋保健所健康推進課(TEL:3987-4231、FAX:3987-4178)推薦：厚生労働省、後援：文部科学省、豊島区、豊島区民社会福祉協議会、日本うつ病学会。お時間のある方は、関心のある方は是非足をお運びください。

東京赤坂ロータリークラブ

NO.1172 / 2013. 11.22

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

11月 15日(金) / 12件 24,000 円

累計 551,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/泉さん先週は楽しかったです。佐久間さん、よくいらっしゃいました。皆で日本をよくしましょう。齊藤さん本日のイニシエーションスピーチを楽しみにしています。田村昭二/寒くなり街のイルミネーションが早くクリスマスが来るのを待っています。入沢頼二/齊藤さん本日のイニシエーションスピーチよろしくお願ひします。佐久間さんようこそ当クラブへ。吉岡琢磨/齊藤さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。菅沼さん昨日は赤坂見附で偶然です。清水實/齊藤さん今日は細長い部屋ですが気にせずイニシエーションを! 楽しみにしています。尾関武男/本日入会審査いたしました。佐久間さんようこそいらっしゃいました。晴れて正式入会を心からお待ちしております。村山公士/齊藤さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。河邊幸夫/齊藤さんのイニシエーションスピーチ楽しみです。石井謙次/菅沼さんニコニコご苦労様です。土屋東一/菅沼さんニコニコご苦労様です。佐藤仁/尾関様ありがとうございます。齊藤さんイニシエーションスピーチを楽しみにしています。藤井万博/齊藤さんイニシエーション楽しみにしています。

親睦だより (NO.3)

今年の忘年家族会の受付が始まっております。
例会受付に登録簿があります。

12月20日(金)皆さん、ご家族、ふるって登録してください。

西澤年度の親睦旅行は「鹿児島県の知覧～指宿温泉」で準備しております。

詳しくは、まとまり次第お知らせいたしますが、来年の4月12日(土)13日(日)の予定ですので、皆さん予定しておいてください。

出席報告：会員 38名 / 出席 24名 欠席 14名

ゲスト： 佐久間 憲一

ビジター： 清水 毅 (東京山の手RC)
計 2名 (順不同)

次回予告/ 2013年 11月 29日 第1281例会

卓話予定：「リーダーのあり方」

公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 氏(元警視総監)

イニシエーションスピーチ(11月15日)

2013年3月1日入会 齊藤 治彦 氏

島本幸治さんの紹介で入会させて頂きました、齊藤と申します。イニシエーション・スピーチということで何を話したらよいのか分かりませんが、簡単に自己紹介をしたいと思います。

その前に小学校時代の友人で小児科医をしている者が病院に長期入院されている児童を元気づけようと画材を購入して画を描いてもらい展示会を主催するN P O法人を運営していて、私も微力ながら支援させて頂いております。「キッズアートプロジェクト」というものですが、皆様にも知りていただきたいと思い資料をお持ちしました。

先程ご紹介頂きましたように、1966年に東京で生まれた後、父親の仕事の都合で兵庫県に移り、小学校2年生から中学3年生までオーストリア、ハンガリーとイギリスで過ごしました。オーストリア(ウィーン)とハンガリー(ブダペスト)では、インターナショナルスクールに通っていたため、日本語が書けなくなり、小学校6年生からイギリスのサリー州にある立教英国学院という全寮制の日本人学校で過ごしました。ハンガリーでは両親が音楽関係の留学生を家に招待することが多く、小林研一郎さんや現在東京芸大副学長の渡辺健二さんなどと深い親交がありました。歌うのが苦手ですが、音楽を聞くことは大好きですので、泉さんの演奏にはいつも心を洗われます。

中学卒業後は筑波大学付属駒場高校に入りましたが、島本さんとはそこでの同級生です。大学卒業後は日銀に入ることとなりました。実は、日銀に行くつもりはあまりなく、通産省(現、経済産業省)に内定を頂いたところ、不思議なご縁があり日銀の方を知ることとなり、気が付いたら日銀に行くことを決めていた次第です。

日銀では国際関係の仕事をすることが多かったのですが、思い出深いのが青森支店時代の経験です。入行2年に赴任した青森支店では、平成3年9月に台風19号が来襲し、多くのりんご農家が甚大な被害を受けました。机に座って報告書を描いている自分に対し、被害を受けたりんご農家のために尽力せよ、との支店長の命を受け、色々と考えた末、落りりんごを箱詰めし地銀協会を通じてあっせん販売することとなり、連日徹夜に近い状況で販売・配送作業に追われましたが、非常に楽しかったことを記憶しております。

米国に留学させて頂いた後、米銀のNY本店にて実務研修する機会を経て、帰国後3年後にコンサルティング会社に転身することに決めました。後にテレビなどに出演することとなる日銀の先輩の木村剛氏に誘われ、大手外資系監査法人であるKPMGに入所し、金融機関をクライアントとしたコンサルティング業務を開始しました。当時は世界的な監査法人のKPMGも認知されていないこともあって、ケイバのK、パチンコのP、マージャンのM、ゴルフのGといったりして営業していました。その後、木村氏が銀行設立などに乗り出し、方針が合わなかったこともあり、東京国際コンサルティング株式会社として、他の共同経営者と独立することとなりました。1998年にKPMGのコンサルティング会社として始めて以来、業務内容は変わっておりませんが、弊社の戦略は「町医者戦略」です。すなわち、クライアントにとって最も近く何でも気軽に

に相談できるような存在でありたい、ということを第一義に考えています。大学病院のような最先端の研究はしておりませんが、実務的かつ意味のあるアドバイスを提供していくという戦略です。しがたいまして、メディアなどの露出は極力避け、目の前の仕事に全力を傾けるようにしております。

実は母方の祖母というのが凄い人でして、三菱のゼロ戦工場で総務部長をしていた祖父が、財閥解体などの過労もあり、当時小学校5年生の母を筆頭に4人の子供を残して結核で他界したのですが、その後、退職金など全財産を抱えて実家に戻る途中にスリにあって全て無くしたうえ、出迎えた彼女の父親が目の前で心臓発作で倒れるという三重苦を直面しながら、その後、編み物事業を立ち上げ、後の「日本ヴォーグ社」を作り上げた人です。その祖母がつねに「どんなに絶望的な状況であったとしても、目の前の仕事を一生懸命楽しくやっていれば道が開ける」ということを言っていて、そうしたことが今の仕事に生きているのかなと考えることがよくあります。

実は個人的な趣味で昨年初めて走った東京マラソンからマラソンを始めたのですが、マラソンから学ぶことが非常に多いと実感しています。一言でいえば、とても前向きになれるということです。後ろ向きにマラソンを走る人はいませんし、どんなに苦しくても一步前に出れば確実にゴールに一步近付けます。

最後になりましたが、まだ右も左も分からずご迷惑をお掛けしてばかりいますが、どうぞご海容頂きますとともに、お導きの程、よろしくお願ひいたします。

年次基金～「EREY」って何？

「EREY」とは「Every Rotarian, Every Year」のことで、日本では「毎年あなたも100ドルを」として親しまれています。言葉のとおり、「毎年すべてのロータリアンが年次基金へ寄付をすることでロータリー財団の活動に参加しましょう！」という寄付による参加を呼びかけるメッセージです。

年次基金は、ロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源です。ロータリー財団の年次基金の特徴は、寄付金を3年後の活動に利用することです。これにより、ロータリアンは、寄付額が確定した後で、予算とプロジェクトの計画に時間をかけることができます。一方、財団はその間寄付金を投資し、収益により管理運営費と寄付増進費を捻出しています。

年次基金には、シェアや6つの重点分野などの選択肢があり、いずれも目標に対する達成額に含まれます。シェアを選択した場合は、50%がDDF(District Designated Fund 地区財団活動資金)、残りの50%がWF(World Fund 国際財団活動資金)となります。DDFは寄付者の地区で使途を決めることができ、クラブが実施する奉仕プロジェクトに利用できます。今年度、世界における年次基金の世界の目標額は1億2,000万ドルです。世界的には「EREY」は年次基金に毎年100ドルを寄付することを目標としていますが、日本では田中作次RI会長年度の今年度、年次基金一人当たりの目標を、昨年度達成の約130ドルより少し上向きに「150ドル」と掲げました。

Every Rotarian, Every Year, あなたも世界でよいことをするために、参加しましょう！

(ロータリージャパンより)